

# 同窓会だより

●発行  
**千葉県立船橋高等学校同窓会**  
 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1  
 ホームページ <http://www.dosokai.ne.jp/kenfuna/>  
 E-mail funaobog@gmail.com

●印刷 (株)サラト  
 姫路市北条宮の町172番地  
 TEL 079-284-1380

題字／小原天簫先生



母校百周年に向け、全会員に同窓会だよりをお送りします。

## 創立百周年記念事業 準備進捗状況

同窓生の皆様はご承知のことと思いますが、今年度が母校創立百周年目です。数年前からこの機会に記念事業を催すことが計画され、昨年度8月に第1回創立百周年記念事業実行委員会役員会が行われ、母校職員が構成メンバーとなる百年史編集委員会、記念式典・講演部会、生徒行事部会の三部会と事務局が準備の中心となることが了承されました。そして現在、来年度に様々な記念事業を催す準備を進めていますので、今年度の同窓会だよりの巻頭は例年の母校勤務同窓生の「母校はいま」ではなく、三部会の進捗状況を中心にお伝えすることになりました。

まず、百年史についてです。これまでに百周年を迎えた他校の例も参考に、「船高百年の歩みが読み取れ、資料的な価値のあるものとし、後生に伝える」をコンセプトにしました。これまでの周年事業で刊行された50周年記念誌の復刻、七十年史の抜粋、80周年記念誌と九十年記念誌をもとにした内容を、「つづきの柱」としています。同窓会だよりで連載されています。「船高の歴史」も、収録予定です。現在各方面に執筆をお願いしている近年の船高についても、今年中には脱稿していただき、来年度3月の発行を目指しています。図書館、学校といった公的機関等には配付し、希望される方には有償ですが頒布する方向で検討しており、頒布の詳細は来年の同窓会だよりでお知らせする予定です。

次に、記念式典・講演についてです。時期についてはこれまでの周年事業も参考に、11月中旬に実施することを決めました。また、母校の現在の人的規模は、全日制と定時制を合わせて生徒職員で約1,500人となります。この人数に加え、来賓・同窓会・PTAのご臨席を賜るために、収容人数が3,000人を超える会場を探しました。その結果、船橋市習志野台にある船橋アリーナを会場に、令和2年11月18日(水)に開催する予定を進めています。講演については、平成28年の公開以来ロングラン上映が続くアニメーション映画「この世界の片隅に」を監督された同年度の芸術選奨文部科学大臣賞も受賞された昭和54年卒同窓生の片渕須直さんをお願いし、内諾をいただいています。映画は今年の8月にNHK総合で放送され、さらに新版(長尺版)「この世界の(さらにつづ)この世界の片隅に」が、今年の12月に公開予定とも伺っています。現在のところ、全国規模のコンクール等でも高評価を得ている放

送委員会の記念映像制作、運動系部活動の対抗戦などが考えられています。具体的には、野球部が神奈川県立湘南高等学校を招待して令和2年10月に記念試合を行なう方向で検討しています。湘南高校は甲子園優勝経験があり、船高が春の県大会で優勝した昭和27年の関東大会での対戦相手です。現在も練習試合をお願いする関係にあり、創立は船高の翌年、神奈川県立の学力向上進学重点校(船高は千葉県立の進学指導重点校)と、百周年記念対抗戦としてはこれ以上ない相手ではないでしょうか。また、百周年を記念したロゴの制作も生徒からの募集によってこれから決める予定です。生徒から募集した中から最優秀賞に選ばれたロゴは船高のホームページ上で発表し、来年度様々な機会で見たいと考えています。さらに、今年8月の実行委員会役員会、これまでなかった「校訓」と「スクールカラー」を百周年を機に決めたらどうかという提案があり、学校に検討が委ねられました。「校訓」は記念事業という範疇で決めるものではないと思いますが、「スクールカラー」については生徒の意見を聞き、生徒が決めることが記念事業の生徒行事になる

と判断し、進めていく予定です。その他教育活動への支援ということで、普通教室でコンピュータ等を利用した教材を提示するためのプロジェクトとスクリーンの購入など、備品の充実を検討していますが、施設設備についても充実させたいところですが、県有建物長寿命化計画の対象となり来年度より調査に入ることから、百周年事業で新たなものを設置してもそれが無くなる可能性もあり、手を付けることができない状況です。現在の進捗状況は概ね以上のようになりつつあります。またこれだけという感想を抱かれるかもしれませんが、今年度中にはきちんと目録を付けて、船高百年に相応しい事業が行えるよう尽力して参ります。

実行委員会事務局長 大堀孝宏(昭和56年卒)

### 同窓生 & 在校生

(令和元年10月1日現在)

同窓会会員総数 34,673人  
 名簿登録数 34,292人  
 内全日制27,941人、定時制5,225人、  
 恩師1,126人  
 住所不明者数 11,284人

在校生  
 全日制 男616人 女470人 計1,086人  
 定時制 男138人 女 85人 計 223人  
 教職員 全日制86人 定時制31人 計 117人  
 内同窓生13人



### 百周年記念事業にご支援を



千葉県立船橋高等学校  
創立百周年記念事業  
実行委員会実行委員長  
藤代孝七

明くる令和2年、いよいよ母校は百周年祝賀の年を迎えます。  
実行委員会では、昭和54年卒の片淵須直監督の記念講演も予定された記念式典(11月18日挙行)をはじめ、百周年記念誌の編纂等、母校を中心に記念事業の準備を進めております。

同時に、事業の柱として母校の教育活動、特に施設設備での支援も検討しましたが、現在母校校舎の長寿命化対策、大規模な改修工事の計画は断念いたしました。しかしながら、改修後の施設整備は必須であり、実行委員会としては資金を積み上げておく必要があるとの考えに至りました。改めて用途は検討する必要がありませんが、母校の教育環境の充実には百年を機に新たな歩み始める船高の礎となることは言うまでもありません。

既に昨年来同窓生の皆さんにはご寄付をお願いし、約1,000万円のご支援をいただいているところではございますが、本年も同額を目的に改めてのご協力をお願い申し上げます。

大正9年の建学から数多くの卒業生が築いた歴史の重みを思い、恩師への感謝と同窓生各位への敬愛の念を新たに、重ねて皆さんにご理解、ご支援をお願い申し上げます。

(昭和36年卒、前船橋市長)

### 100周年を機に校訓を

いよいよ来年

### 母校は創立100周年



同窓会会長  
子安啓司 (昭和43年卒)

1920年建学から来年にわが母校、千葉県立船橋高等学校は創立100周年を迎えます。近時の日韓関係や米中貿易摩擦などの政治経済状況が好転し、地球規模での温暖化・異常気象も緩和していると思えませんが、杞憂していてもしょうがありません。消費税増税を機に浸透したカード決済に利便性が向上し、オリンピックでは大応援を糧とした日本人の大活躍を見て、船橋市内の大ホールで、船橋高等学校創立100周年記念式典に参加出来ればと願う次第です。

創立100周年記念事業の進捗状況等や年度の募金のお願いは実行委員長の報告にあると思っておりますので、校訓について述べたいと考えます。現在、千葉県の県立高校は「開かれた学校づくり委員会」を設置し、地域の方々の意見を取入れ学校改善に役立てております。同窓会長として私も参加しておりますが、そこで県の方針に基づき「生徒による学校評価アンケート」を実施した結果を毎年見せて頂いております。概ね良い効果が伺われる結果ですが、極端に低い項目が一つあり、それが「私(生徒)は船橋高校の教育目標を知っている」の間です。他の高校では殆ど制定されている「切磋琢磨」「飛翔」「真摯醇正」「己に克つ」などの校訓が想定されるのに対し、母校では以下の教育目標(大字下線は筆者)1. 自他敬愛の精神に立って互いに切磋琢磨し、**専心研学**の校風を樹立する。  
2. 創造的な知性と円満な徳性を培い、社会的に有為な人材を育成する。

3. 強靱な体力と旺盛な気力を養い、**自学・自律**を通して実践力のある人間を育成する。  
4. 勤労を重んじ、進んで学習環境の整備に努め、**明るい学園**を建設する。

この件で、校訓が無いのを知った私は、学校に100周年を機に校訓を決めてはどうかと提案し、検討をお願いしております。又、多くの同窓生のご協力により刊行出来ました同窓会名簿中表紙裏に学校にある石碑の写真が掲載されておりました。正門から玄関に行く途中の90周年建立のサトウハチロー直筆校歌碑はよく見ておりましたが、かつては正門だったものの片隅にかくれた石碑は全然気がつきませんでした。が、「中学碑」「櫟葉」「専心研学」が建立されております。このため、専心研学が校訓に良いと思わますが、とにかく学校で100周年を機に決めて頂ければ周知定着に良い機会と考えます。同時に野球の応援に行かれた先生などから「スクールカラー」も決められないかとの要望もあり、この件についても学校に検討をお願いしました。

校訓・スクールカラーの発表も伴う式典となれば、同窓生、在校生共に一層母校に対する愛着が湧き、多数の同窓生が参加されるのではないかと思います。

記念事業や式典については決まり次第、「千葉県立船橋高等学校同窓会」ホームページに掲載されますので、ご確認下さい。

### ご挨拶



校長 安藤久彦

同窓生の皆様には日頃より母校の教育活動に御支援を賜り、誠にありがとうございます。校長2年目となり同窓会役員の皆様をはじめ多くの方々とお会いする機会も増えましたが、各界で活躍する同窓生の多さに改めて感心しているところです。

さて本校は夏休みに中学生向けの学校説明会を行っています。今年も2,700人ほどの参加者がありました。また年5回行っている中学生とその保護者対象の授業公開にも、毎回200人近い参加者があります。そして高校入試は例年高倍率となるなど、本校への周囲の関心はますます高まっています。部活動や学習成果発表会などの様々な分野で生徒が活躍し、難関大学への進学実績も好調なことなどが、人気を後押ししているものと言えます。

躍進著しい皆様の母校ですが、学び舎の構えは半世紀にわたって大きな変化がありません。高校時代と変わらぬ景色に懐かしさを覚える方もいらっしゃると思いますが、老朽化は避けがたく荒天時などには様々な影響が及んでいます。来年度以降、千葉県県有建物長寿命化計画に基づく調査、改修等が予定される一方、令和4年度から定時制課程が県立行徳高校と統合して総合学科になるための施設改修も必要です。マンパワーを活かしてソフト面の充実を図ってきた本校ですが、今後はハード面における教育環境の整備が進むことに期待しています。

来るべき創立百周年記念事業を成功させ、船橋高校が新しい世紀に向けて一層発展していけるよう、私たち職員も努めてまいります。今後とも変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。



令和元年度

# 『春の同窓会』のご案内

実行委員長

向笠 真司 (昭和53年卒)

令和2年2月11日(祝・火)に、恒例の「春の同窓会」が開催されます。

今回は、元号が平成から令和へと変わってから初めてとなる「春の同窓会」となります。そして、母校船高が創立百周年を迎える、記念すべき年の同窓会でもあります。

今回の「春の同窓会」では、今年還暦を迎える昭和53年卒のメンバーが実行委員を務めます。昨年7月には、幹事学年の前年に出たつと学年同窓会を行いました。「誰だっけ?」と聞きながらのお互いの変わりようが戸惑いながらも、しばらくすると数十年の時の流れが嘘のように、高校時代の話で盛り上がりつつありました。高校時代、いつも腰に手ぬぐいをぶら下げていた国語科の先生が、孔子の論語や漢文の中国詩を朗々と読み上げていた姿も、つい昨日のことのように思い出されます。とはいえ、今の私たちは記憶にあるほとんどの先生方よりも年上になりました。

人生百年時代を迎えようとするこれからこの時代、還暦から後の人生をどう過ごしていくかは大きな課題です。論語の一節に「朋あり遠方より来たる、また楽しからずや」という言葉があります。人生の最大の楽しみの一つは、古くからの友人とともに酒を酌み交わし歓談すること、という孔子の言葉は、今こそ心からうなずけます。

ひたすら走りつづけてきた昭和、平成。そして始まったばかりの令和の時代。2020東京オリンピック・パラリンピックを目前に控える、日本中にオリンピックムーブメントが高まる中、船高とともに過ごしたそれぞれの青春時代を思い返しなが、旧交を温め合える機会となれば幸いです。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

## 百周年記念事業に

### 向けて

1920年大神宮の客殿に船橋中学校として発足以来、明くる2020年に母校は創立百周年祝賀の年を迎えます。既に多くの皆さまからご協力を賜り着々と準備も進んでまいりました。

本年も、現時点で住所が確認できている会員全ての方々にこの同窓会だよりをお送りし、重ねて記念事業へのご協力をお願いするとともに進捗状況等をお知らせいたします。

#### 実行委員会

昨年もお知らせしましたが、同窓の藤代孝七氏(前船橋市長)を実行委員長に、母校全日制PTA、定時制PTA、定時制教育振興会と同窓会、5団体が創立百周年記念事業実行委員会を組織し、この記念事業に取り組んでおり、同窓会会長他4名が委員となっております。

#### 同窓会の主な取り組み

資金面での協力が中心となります。昨年度は951名(他、匿名、学年単位の寄付有)の方から、10,666千円(本年5月10日時点)の寄付を頂戴しています。本年度も引き続き募集します。

**記念式典** 母校を中心に2020年11月18日に記念式典が挙行されます。また、現役生を対象に、アニメ映画監督片淵須直(昭和54年卒)さんを講師に迎えた記念講演(も予定されています。この式典・講演会には百周年記念事業への寄付金納付者を対象にご案内を差し上げるよう計画しております。また、式典終了後には同窓会が祝賀会を行う予定です。

**記念誌編纂** 百年の歩みを資料的に価値あるものとし後世に残すべく、学校に残された資料等を元に編纂部が取り組んでいます。

**生徒行事** 在校生が主体的に参加する行事を検討しています。

**教育施設整備** 母校の教育環境の充実のため「基金」を積み上げ、今後予定されている母校校舎の長寿命化対策、大規模な改修工事(千葉県の事業)の結果を踏まえた母

校の教育施設整備に備えます。この事業が寄付金の主な対象となる予定です。

**同窓会からお願い** 百年史、記念式典、母校国際交流資金等の事業で800万円を超える予算が示されており、母校教育施設整備への基金を積み上げるには資金は不足していると言わざるを得ません。現時点で具体的な整備計画がない中でのお願いとはなりますが県の校舎長寿命化対策事業の進捗に合わせての計画となりますのでご理解願います。

**ご留意ください** 振込書は2部同封しました。毎回お願いしている同窓会運営費が一口千円のもの、百周年の寄付は一口五千円のものとなります。お間違えなきようお願いいたします。

**同窓会だより** 年1回、同窓生の近況や母校の現況等を掲載し発行しています。来年度まで3年間全会員へ送付いたします。来年度後は運営費または寄付金を納付いただいた方を対象にお送りします。

**総会報告** 本年度の総会は8月5日に開催されました。決算予算を報告いたします。同窓会副会長 島崎喜一(昭和48年卒)

## 平成30年度決算及び令和元年度予算

### 1. 収入の部

科目	元年度予算	30年度予算	30年度決算	29年度決算
繰越金	15,051,167	14,051,426	14,051,426	11,569,660
一般会計	15,051,167	14,051,426	14,051,426	11,569,660
会費	6,330,000	6,330,000	7,236,996	7,118,348
入会金	1,230,000	1,230,000	1,245,000	1,227,000
春の同窓会	2,600,000	2,600,000	2,971,000	2,994,000
同窓会運営費	2,500,000	2,500,000	3,020,996	2,897,348
雑収入	3,100	192,600	199,911	1,252,182
雑収入	3,000	191,100	199,800	1,252,100
利息	100	1,500	111	82
合計	21,384,267	20,574,026	21,488,333	19,940,190

### 2. 支出の部

科目	元年度予算	30年度予算	30年度決算	29年度決算
会議費	200,000	200,000	136,429	147,036
総会	100,000	100,000	95,929	102,036
理事会	100,000	100,000	40,500	45,000
需用費	390,000	390,000	274,866	205,272
通信手数料	150,000	150,000	156,664	101,409
印刷費	100,000	100,000	50,000	50,000
消耗品費	20,000	20,000	0	8,215
謝金等諸費	70,000	70,000	0	0
運営雑費	50,000	50,000	68,202	45,648
後援費	1,070,000	1,070,000	520,278	716,941
母校応援費	800,000	800,000	410,000	560,540
特別奨励金	100,000	100,000	0	0
卒業記念品	120,000	120,000	100,278	106,401
クラス会補助	50,000	50,000	10,000	50,000
賤別及び慶弔費	80,000	80,000	82,400	54,580
賤別金等	30,000	30,000	40,000	40,000
慶弔費	50,000	50,000	42,400	14,580
春の同窓会費	2,350,000	2,350,000	2,102,066	2,181,136
会場費	2,000,000	2,000,000	1,802,066	1,831,136
幹事学年諸費	300,000	300,000	250,000	300,000
運営雑費	50,000	50,000	50,000	50,000
会報及び広報費	3,650,000	3,150,000	3,309,127	2,559,799
会報発行費	3,500,000	3,000,000	3,309,127	2,462,167
HP運営費	150,000	150,000	0	97,632
雑費	3,000	3,000	12,000	24,000
入会金返戻	3,000	3,000	12,000	24,000
予備費	13,641,267	13,331,026	—	—
繰越額	—	—	15,051,167	14,051,426
合計	21,384,267	20,574,026	21,488,333	19,940,190





# 恩師探訪

## 青木郁夫 先生



私が本校に保健体育の教師として赴任したのは1971年(昭和46年)の4月からでした。

4月1日、校長室にて辞令をいただき、教務の先生から校内全体の大まかな仕組みを聞いて体育科へ。教育課程や年間スケジュールを聞いて体育施設の見学。上のグラウンド、旧部室、旧体育館(この二棟はのちに取り壊すことになる)。テニスコート、バレーコート、新体育館、柔道場、そして道路を挟んで野球場、サッカー場等非常に大きな施設が。さすが県船だと思いました。

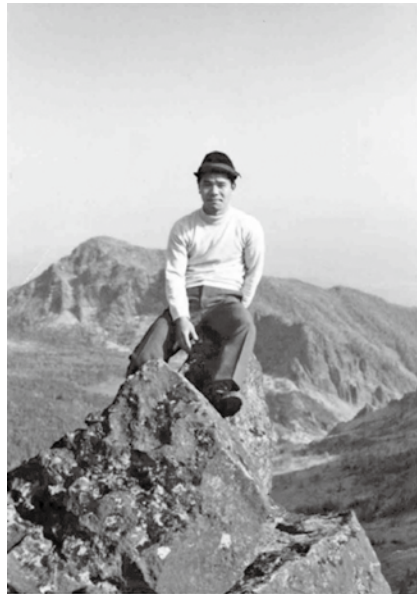
1学期が始まり4月5日、年度始めの職員会議で指定された席に着くと「ヨオー」と隣の先生が声をかけてくれました。なんと高校時代の恩師(英語)でした。そして前の席には同じく恩師(物理)でした。室内を見渡すと黒板を背に校長、教頭、教務主任。向かって3学年、2学年、1学年、無学年。もちろん私は無学年でした。年配の方が多く、後で分かっていたことですが、本校に10年、10数年、中には20数年の方もいらっしやるのか。弱冠24歳の私はやっていけないのかと思ったほどでした。

授業は保健(1年又は2年)、体育は全学年男女。得意が器械運動でしたので、女子の授業が多かったように思います。マット運動、鉄棒、そして陸上、球技等。7月に入ると水泳の授業。隣の宮本中学校との共用のプールでの授業でした。25mの

プールでしたが浄化機能が悪く、今思えば水質が悪い時もあったようです。しかし生徒は一生懸命授業に参加しました。夏休み前には学年毎の水泳大会。私は九十九里の荒波で育ちましたので泳ぐことが大好きでした。

夏休み中の学年行事に林間学校(1年)があり、A、B、C隊と日程を組み、A隊と出発してC隊と帰って来た時もありました。浅間山登山、キャンプファイヤー等楽しい思い出がいっぱいでした。一つの教訓は浅間山登山の時、私はいつもしんがり(30mくらいのザイルを肩にかついで生徒の後ろを登っていました。その時、前の女子生徒の帽子が風に飛ばされて、火口の中腹に落ちてしまいました。私はザイルを使えば取れると判断し、男性教師と男子生徒に端を持ってもらいザイルを伝って帽子を拾い

女子生徒に非常に喜びました。しかし、学校から校長先生に説教された。君の命が大切なんだ



浅間山にて

!!と。もしものことがあったらとの一言でしたが、私は非常に反省し、校長先生の教育者としての人格を思い知らされました。

2学期は体育祭と文化祭。特に体育祭では2年男子の組体操。ピラミッド5段、タワ13段、ブリッジ30、40人。現在ではケガ人が多く実施しない傾向のようですが、あの時代の本校生徒は一生懸命お互い協力してケガもなく成功させることができました。

たねばな祭は各教室、廊下での各クラス、部活の出し物。体育館では演劇、合唱、いろいろな発表等、本校生徒の能力の高さを実感しました。そして、2学年の修学旅行。私は赴任後5年間担任になれませんでした。前述の通り、ベテラン、有能な先生が多かったからだと思います。先輩の先生から「担任にあらずんば教師にあらず」とよく言われましたが頑張った末にやっと担任になりました。その学年が今回の同窓会幹事の仲間です。新幹線で京都駅に着くと、そこから各クラス毎にバスで市内散策。神社、仏閣も見学し宿舎の

聖護院御殿荘へ。すばらしい宿舎でした。双子の老齢な仲居さんがとても印象的でした。奈良に移動して東大寺大仏殿、若草山、薬師寺を散策。帰りに再び京都へ。二条城を見学し京都駅から帰路へ。学校の廊下に思い出の写真集「馬と鹿」は傑作でした。

3学期が始まると寒稽古。1年は柔道、2年は剣道。A組から1組まで1日毎に普段より1時間早く登校し、柔道場、体育館へ。私も負けずに毎日交互に。寒い中冷たい畳、床に正座から始まり準備運動、最後に乱取り。多くの生徒と真剣勝負、勝ったり負けたり。最後には体中に汗が、さすがにいい気持ちになりました。女子生徒も数人参加したこともありました。授業は持久走。本校の近隣、宮本中の周りの道路を男子は3周、女子は2周。寒い中吐く息は白く、男女とも半袖短パン。欠席すると補講があるので皆積極的に出席し毎回一人の落後者もなく完走しました。そして校内マラソン(持久走)大会は検見川の東大グラウンドを借用して高低差が多く、樹木にかこまれた芝生の走路。クロスカントリーと言ったほうが良いかもしれません。男子も女子も一生懸命自分との戦いに挑



体育祭2年男子の組体操

戦しました。私も一緒に走りました。生徒に負けたくない。若さの取柄か。現在はどうなんでしょうか。そして卒業式。送られたことは何度かありますが送るのは初めて。卒業生入場から始まり退場までの約50分間。荘厳に粛々と。すばらしい1年間でした。教師としての一歩、礎を育んでくれた本校に9年勤務させていただきました。永いようで短い9年間でした。

その後、千葉女子高校、市原高校、幕張総合高校と37年間教師を全うすることができました。県立船橋高校に、先輩、同僚に、そして多くの生徒の皆さまに心より感謝いたします。



# 船高の歴史(二四)

## 空中写真と地図から見た一九四〇後半

### 六〇年代後半の船高の姿

小川 信 雄(元千葉県立千葉高校教諭、一九六三年卒業)

江戸時代にも多数の地図が作成されていた。なかでも全国的規模の四回目の『天保国絵図』は一八三六

に完成したが、全国八〇余枚の規模が遺っている(この地図は縮尺は一里二四軒が六寸二六・六mmでしめされ、縮尺は二万二六〇〇分であった)。さらに伊能忠敬(一七四五〜一八一八)作成の『大日本沿海輿地全図』、通称『伊能図』は幕末から明治初期に完成した。それは「大図」(縮尺六〇〇〇分)、「中図」(縮尺二二万六〇〇〇分)、「小図」(四三万二〇〇〇分)があった。

明治新政府国内統治のために、国家事業としての地図作成を始めた。一八六九(明治二)年四月に民部官(七月には民部省)をおき、地誌・地理資料の収集を始め、翌年には地理司を設置した。七一(明治四)年に民部省は廃止されたものの地理・地誌関係事務は大蔵省、工部省にわけられ、七三(明治六)年に内務省に地理・地誌などの事務は統合された。

一八七七(明治一〇)年二〜七月におこった内乱(あるいは土族反乱)では詳細な地図がないために問題がおこった。そのため政府は一八八〇(一三)〜一九一九(二六)年に関東平野を測量し、縮尺二万二

分一迅速測図原図』、いわゆる『迅速図』を九二二枚作成した。

当時の日本陸軍は旧幕府陸軍の採用したフランス軍政・軍制によっていたため、地図作成もフランス式によっていた。この地図は彩色が施され、土地利用の様相がわかるものであった。三角点測量による平板測量原図であり、経緯度はしるされていないものであった。だが一八八三(明治一六)年になると測量・地図作成を含め、軍政・軍制全体はフランス陸軍式から、普仏戦争(一八七〇〜七七年、プロイセンとフランスの戦争で、フランスは敗北してドイツが統一された)の結果をうけて、ドイツ式に変更された。

この間、政府は参謀本部条例を改正し、また内務省の測量事業を統合し、測量局を設け三角測量課・地形測量課・地図課を設置し、さらに八八(二一)年に測量局は参謀本部直属の独立官庁として『陸地測量部』となった。こうして日本の地図作成軍部・参謀本部が握るという軍事的特徴をもつものになった(その一例は日本水準原点は東京府三宅坂の参謀本部内に設置されている)。

その後、一八九五(明治二七)年に

五万分一地図の作成が開始され、一九二四(大正一三)年に完成した(全国をカバーした二九一枚)。

さらに一九〇八(明治四一)年には二万分一地図の作成も開始されたが、一九三八(昭和一三)になると戦時を理由にその作業は中断された。この作業は一九六四(昭和三九)年の第二次基本測量長期計画によって、日本の基本本会活動のために図として本格的な整備が再開されて一九八三(昭和五八)年に完了した(全国を四四二〇枚でカバー)。これらの作成過程では測量が終了した地図であっても度々の修正測量がおこなわれて、地域によっては一万分一地図も作成された。

アジア太平洋戦争の敗戦後、日本は連合国軍(主にアメリカ軍)に占領され、間接統治のもとにおかれたが、一九四六(昭和二一)年に陸地測量部は廃止され、内務省付属地理調査所となる。その翌々年の内務省解体後に新設された建設省に付属したが、六〇(三五)年になると『国土地理院』と改称された(二〇〇一年一月から国土交通省に付属)。

以上にのべた地図作成には科学・技術の発達が大きく寄与してお

り、なかでも航空機による空中写真の撮影はどうだったのだろうか。戦前、日本陸軍は空中写真の撮影を一九三〇年代に東京多摩地域で開始し、アジア太平洋戦争中には侵略した各国占領地でおこなった。しかしその内容は遺された資料がなく、また歴史学・地理学の研究もほとんどないため詳細は不明である(多摩地域の遺された写真は三二二点、縮尺は七〇〇〇分一から三万五〇〇〇分一であった)。

アメリカ軍はB29重爆撃機による日本本土爆撃のために空中写真を撮影していたが、敗戦後に日本の占領管理のために敗戦直後からアメリカ軍によって、一九五四(昭和二九)年まで日本本土の空中写真が撮影された(一九五二年四月に独立を回復)。この空中写真は縮尺四万分之一が九万四〇〇〇枚、同一万分之一が一〇万二〇〇〇枚も撮影されたという。その後、国土地理院も精密高度空中写真を撮影している。

つぎに本稿のテーマである船橋高校とその周辺の空中写真と地図の一部を掲載した。地図は『津田沼』一・一〇〇〇〇地形図 千葉一四号 佐倉の二五』(国土地理院掲載許可)である。この地図は一九一七(大正六)年測量、地九五九(昭和三四)年測量、同年修正測量、一九六一(昭和三六)年行政・鉄道修正したものである。地図上には当時の校舎の配置や東側には運河跡の野球グラウンドなど

がわかる(『船高の歴史 六 第二運動場の由来』参照)。また『空中写真』(『国土地理院 空中写真整理番号UW4511コース番号CA 写真番号58』、国土地理院掲載許可)は一九五〇(昭和二五)年に撮影されたものである。一九六一年当時とは異なるまだ整備されていない校舎や住宅地化されていない、畑地が広がる状況がわかり、現在の船高と周辺の景観と比較してみると興味深い。



昭和25年頃 空撮



昭和36年頃 1万分の1

(補)「地形図」や「空中写真」の閲覧や複写購入はインターネットで『国土地理院』や『日本地図センター』から検索すれば可能である。また東京都千代田区九段には『国土地理院関東地方測量部』(九段第二合同庁舎内)があり、地図利用には便利である。また『迅速測図』は農業環境技術研究所の「歴史的農業環境閲覧システム」でウェブ上で見ることが出来る。

参考文献・田代博『地図がわかれば社会がわかる』二〇一六年七月 新日本出版社、新宿歴史博物館・国土地理院等『展示 近代測量150年 測量×地図』(二〇一九年九月二二日〜二〇二〇年二月八日)展の展示資料、データ

令和元年度 母校の現況

【全吉制】

運動系部活動の番号区分
1平成30年度新人大会
2令和元年度(平成31年度)関東大会予選
3令和元年度(平成31年度)県総体
4その他

○運動系部活動

野球
1県大会2回戦進出
2県大会2回戦進出
3第101回全国高等学校野球選手権千葉大会
千葉大会4回戦(ベスト32)

陸上競技

1男子800m 中西 第5位
女子三段跳び 松井 第4位 関東大会出場
2女子4x100mリレー 準決勝進出
女子4x400mリレー 準決勝進出

水泳

1水球 県ベスト8
B決勝進出
4名4種目(塩原・中江・井林・安田)
2水球 県ベスト8
競泳 B決勝進出 2名4種目(池上・井林)
3水球 県高校選手権大会 2次リーグ進出
競泳 県高校選手権大会
女子200m平泳ぎ 若杉 4位
男子400m個人メドレー 稲田 8位
B決勝進出 4名6種目
(安田・江口・横田・紺谷)

サッカー

1県大会ベスト32
2県大会ベスト32
3県大会2回戦
4全国高校サッカー選手権大会千葉県予選
一次トーナメント3回戦敗退

柔道

1男子団体 県大会1回戦敗退
2男子団体 県大会1回戦敗退
3平成30年度船橋市秋季市民柔道大会
無段の部 第3位 椿
令和元年度船橋市春季市民柔道大会
女子個人戦 優勝 知久・第3位 辻
女子個人戦 優勝 小柴・第3位 石尾

剣道

1男子団体 県大会1回戦敗退
2男子団体 県大会2回戦敗退
3男子団体 県大会2回戦敗退
4船橋市民剣道大会 個人戦 古賀・西村
北部地区剣道大会 男子団体 ベスト8
バスケットボール男子
1県大会1回戦

2県大会3回戦 ベスト16
3県大会4回戦 ベスト16
4千葉県地区選抜対抗大会
3名が第9地区選抜に選出
スタートの1名が大会優秀選手(ベスト5)

バスケットボール女子
1第9地区予選 敗退
2第9地区予選 敗退
3千葉県地区選抜対抗大会 6位
1名が第9地区選抜に選出

バレーボール男子
1県大会 ベスト16
2地区大会 4位
3県大会1回戦
バレーボール女子
1県大会出場
2県大会出場
3県大会2回戦

テニス
1女子団体 県大会ベスト32
2女子団体 県大会ベスト32
3男子団体 県大会出場
4男子団体 県大会出場

卓球
1シングルス 1名 県大会出場
ダブルス 2組 県大会出場
2男子団体 県大会出場
3男子団体 県大会出場
シングルス 1名 県大会出場
バドミントン
1男子団体 県大会出場権を得たが修学旅行のため辞退
D 中西
D 中西・木村組 県大会2回戦
S 加藤 県大会2回戦

将棋
1男子個人A級 保野 21位 B級 林 優勝
2男子個人A級 須原・竹沢・泉崎組 9位
3男子個人A級 須原・竹沢 10位
4男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位
5男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位
6男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位

囲碁
1男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位
2男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位
3男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位
4男子個人A級 須原 14位 竹沢 18位

美術
1男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位

男子個人 本間 7位
2男子個人 ベスト8
3男子個人 五十嵐 優勝
4男子個人 石倉 3位
5男子個人 石倉 10位
6男子個人 石倉 10位
7男子個人 石倉 10位
8男子個人 石倉 10位
9男子個人 石倉 10位
10男子個人 石倉 10位



オーケストラ部の創立年が判明!

オーケストラ部は現在一年生24名、二年生30名、この七月を以て引退した三年生3名を含めると計八五名と...

野球部について

野球部は現在2年生8名、1年生18名(女子マネージャー3名含む)の計26名で活動してまいりました。今年度は春季大会、船橋二和、東邦大東邦、袖ヶ浦高校に勝利してベスト32、夏の選手権大会では印刷明誠、安房拓心、長狭高校に勝利してベスト32、秋祭大会では、船橋古和釜、沼南高柳、津田沼、そして市立船橋高校との「船橋ダービー」を制してベスト32進出を果たすことが出来ました。これぞ昨年の夏の大会から5期連続ベスト32

おたより彼れ是れ

(4回戦相当)となりましたが、その上のベスト16になかなか進むことが出来ません。素質に恵まれている選手がいるわけはない本校が強豪私立・市立高校打倒を果たすためには練習を積み重ねる必要があります。その努力は受験にもつながっており、毎年のように国立立大学合格者が出ています。「船橋生なら二鬼を立派に体現してくれたい」と感じます。念願である甲子園出場を目指し、日々「下グラウンド」で活動しています。(顧問 日暮 剛平)

松永 伍生 昭和35年卒

喜寿を過ぎ、一日一新をスローガンに公私、元気にしています。同窓会の益々の御発展を祈念します。追・合同演奏会での田久保さん指揮者は、2015・5仙台での1000人のチェロコンサートで女房が御一緒させて頂きました。

木村 晃浩 昭和61年卒

創立100周年おめでとうございませう。伝統ある船高で学べたことを誇りに思います。ささやかですが募金させて頂きました。記念事業の一助になるとなればと思います。

白石 三弥子 昭和50年卒

2020年の100周年、おめでとうございませう。伝統ある高校で学べたこと、誇りに思います。同窓生とお散歩会など、おつき合いです。よろしくお願いいたします。

戸村 千恵子 旧職員

今年傘寿を迎えます。退職後、早20年目。つつがなく年を重ね感謝の日々です。近所に加藤順一先生(船橋芝山校長)がお住まいで、90才を過ぎてご健在、散歩の途中で、いろいろな学校時代のお話を聞きながら、ささやかに励みます。併句集(2冊)と鼓の趣味も、刺激されます。今のところ、コーラス、卓球続行中。

中坪 保子 旧仲間(昭和38年卒)

高齢になりましたが年相応に元気に活動しております。趣味のハーマニオンのリハビリのためのブルウオーキング等、毎日忙し過ぎています。同窓会のご盛会をお祈り申し上げます。

赤塚 康子 旧姓榎本(昭和44年卒)

スポーツジムと趣味を元気に楽しんでおります。母校の益々の発展を祈念しております。

佐藤 公寛 昭和59年卒

60歳の同窓会幹事年を視野に、毎年のたちばな祭の日程に合わせて同期会を開催中。その準備と称して月一回ペースで幹事会という名の飲み会で旧交をあたためています。

田島 恵樹 昭和50年卒

リスラ・転職・病氣・転職と色々あつて、10年くらいオーケストラから離れておりましたが、1年前にアマオケの活動を再開し暮には第9弾を弾いてきました。田久保君との第9弾を楽しみにしています。

鈴木 仁 昭和27年卒

S27年卒。光陰如矢もう新年は86才になります。男女共学が開始された学年です。未だに時おり、諸兄弟と懇親会をもつて居ります。皆夫々の人生ですが、良い健康維持の努力中です。

安富 伸子 旧姓藤井(昭和34年卒)

図書委員の夏の行事の一つに登山がありました。三ツ峠、大菩薩峠、榛名山、新宿発の夜行列車、懐かし思い出です。皆様お元気でいて下さることを祈ります。

山内 寿子 旧姓豊嶋(昭和35年卒)

昨年は栗駒山と安達太良山へ紅葉を見に行きました。今年はどこへ行くのかと思っております。

田辺 啓子 旧姓山口(昭和32年卒)

役員の皆様いろいろご苦労様です。H30・12・9・11を上京しました。上京のたび、交通や船橋駅回りなど変化がきびしくウロウロしてしまします。広島我が家の廻りが緑が多くビルの谷間に居ると息がつかまりそうです。実家は実母です!!

細谷 公蔵 昭和32年卒

地元集りを第一に養老川流域を見歩き、上総国府探検、古代道研参加昨年はが叶った。ミカンの生育地を回って、近くに文化財、歌碑を見、足らずをくい、チパニ島を希望に見歩きます。

石島 恵美子 旧姓江連(昭和60年卒)

書道部でした。小原先生の御話の題字を嬉しく拝見しております。先生の入賞作品を部活で見に行った帰りに、連れて行って頂いたアメコトの餃子屋を35年ぶりに訪ね、変わらぬお話しとあの頃の思い出で幸せに浸りました。

大塚 文枝 昭和34年卒

ここ数年同窓会に参加して、いせんが80才を目前に参加を考えています。なつかしい友との再会も又良いかなと思う日々です。自分の趣味を楽しんだりデイサービスボランテアに行ったりしています。

太田 尚子 旧姓畑田(平成12年卒)

2017・12学年の同窓会がありました。懐かしい人、当時はそれほど話したことのない人も話すことができ、久々に若かりし頃に戻ったようでした。周りの方々の皆様の活躍に驚かされました。幹事の方々ありがとうございました。

久保 和秀 昭和44年卒

遺跡の発掘や剣道の稽古と、随分汗をかいたことばかりです。古墳時代の小さな円墳からは、鉄剣やガラスのビーズも出ました。縄文時代の環状集落跡では、堅六住居址から見事な支脚の土器や、矢じり・石斧なども、土の掘り出しや運搬で足腰を使うので、剣道でも体捌きが崩れないかと役立っています。

辻丸 卓美 昭和42年卒

「御成り街道」に御参加しています。毎年11月に旧校門前を通ります。卒業をサポーターする活動をしています。

村上 治 昭和51年卒

昨年(2018年)2月の同窓会にて、英語科の大木先生のスピーチでのお元気そうなお姿もより、ハーマニオンの校歌演奏に感動しました。

山田 幸子 旧姓相川(昭和27年卒)

昭和27年3月卒業の伊藤ルミは、毎年4月10日東京駅北口前のOazoでクラス会を行っています。86才に今年なりませうが例年6・8名集まり高校時代の話に花が咲いています。男女共学のモデルクラスとして他のクラスにない面白さも楽しんでいきます。優秀な後輩の大活躍大變嬉しく存じます。

吉田 智恵子 旧職員

11/25船高合唱部のOBOG合唱団・合唱コンクールが創設7年目にして、全日本合唱コンクールの全国大会ユースの部に初出場し、銀賞を受賞。私も札幌のホールにききにいって来ました。快挙です。卒業して50年が経ちました。

花澤 正昭 昭和38年卒

同級生だった小川信雄氏が綿密な調査とご努力で毎回執筆くださったっている「船高の歴史」を楽しみに愛読させてもらっています。

創立百周年記念 現役・卒業生合同演奏会のお知らせ

前報でお知らせした演奏会の概要をお知らせいたします。なお、この原稿は九月に作成しておりますので、日時・場所は未定となっております。決定次第、同窓会HP「百周年記念演奏会」に掲載させていただきます。

- 一、日時 二〇二〇年十二月が望ましいが未定
二、演奏曲目 ベートーヴェン
三、交響曲第九番「合唱つき」
ヘンデル「ハレルヤ」、他
四、団員募集要領
対象 船高の現役高校生、卒業生、元現職員
五、お問い合わせ
funaoki@odaig9@gmail.com
funaoki@odaig9@gmail.com
【百周年記念演奏会事務局】

※詳細は、同窓会HP「百周年記念演奏会」をご覧ください。
昭和四九年卒 器楽部OB
大浦 成子



早いもので船高を卒業してから30+α年、50代に突入してしまいました。信長の時代には「人生50年」とうたわれていたの、まよめの時期となるのかもしれない。ところがどっこい、現実にはやりたことがたくさん！まだまだこれからこの人生をエンジョイしたいと思っています。そんな折、来年2020年、記念すべきオリンピックイヤーに母校は創立100周年の節目を迎えます。記念式典の詳細は徐々に明らかになってきましたが、実行委員として諸々の行事に携わることができるといことが、光栄とても嬉しく思います。100年という歴史の重みを感じることが、次の100年はどんな未来が待っているのか、覗いてみたくて今からワクワクしています。